

とちぎ女性チャレンジ応援事業【栃木県】

個別事業費	8,771 千円
交付金額	3,884 千円

地域の実情と課題

- 男性の非正規労働者の割合24.7%に対し、女性の非正規労働者の割合は53.1%
- 所定外労働時間の全国平均121時間に対し、本県は137時間
- 女性の有業率において、正規雇用労働者の比率が20代前半をピークに低下を続ける「L字カーブ」現象が生じている。
- 県内企業における育児休業制度整備率90.0%に対し、男性の育児休業取得率は28.7%と、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスへの理解が進まず、男性が育児休業を取得できる環境となっていないと考えられる。

事業の特徴

- 女子中・高校生と理工系分野の企業等で活躍する女性との交流や女子小・中学生等を対象とした実験教室等の開催により科学等への興味関心を醸成するなど、理工系分野への進路を選択する女性の増加を図る。
- 大学生等を対象にキャリアコンサルタントやロールモデルがワーク・ライフ・バランスの実現の重要性や女性の就業継続等に係る講義を行い、自らの将来のキャリアビジョンを考えるきっかけを提供
- 夫婦で共に子育てを担う重要性について学ぶ機会の提供や男性の家事・育児参画の促進、男性を対象としたワーク・ライフ・バランス講座により、女性の働きやすい家庭環境の整備を行う。

事業の効果

大学生等を対象としたキャリアデザイン講座に144名(目標値:120名)、子育て中の夫婦を対象としたとも育て応援講座に57名(目標値:30名)参加といずれも目標値を上回り、若年層や子育て世帯を含めたあらゆる多角的な視点をもって様々な立場の県民に働きかけを行うことで、女性活躍の推進を図ることができた。

目的・目標

様々な視点から女性のチャレンジを応援し、女性の就業率や男性の育児休業取得率の向上を図る。

- 女性の就業率:40.0%(R6年度末)【実績:36.3%】
- 男性の育児休業取得率(R6年度末)【実績:38.5%】
- とちぎ女性活躍応援団の登録企業数:1,344社(R6年度末)【実績:1,532社】
- 男女生き生き企業認定企業数:350社(R6年度末)【実績:342社】
- 各種講座参加者数:計450名(R6年度)【実績:454名】

連携団体

【連携体制】
とちぎ女性活躍応援団

【構成団体】
登録企業(R6末:1,532社)

【運営団体】
栃木県経営者協会、栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、栃木県医師会、栃木県看護協会、栃木県社会福祉協議会、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会、栃木県建設産業団体連合会、栃木県トラック協会、栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会、大学コンソーシアムとちぎ、足利銀行、栃木銀行、下野新聞社、日本放送協会 宇都宮放送局、栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、とちぎ男女共同参画財団

今後の課題

- 女性の就業率や男性の育休取得率の向上を図るために、より効果的な内容に見直す必要がある。
- 働く女性の活躍支援に関する取組を行っている市町村が一部にとどまっているため、当交付金の活用や市町村の先進的な事業のPR等により、市町村における女性活躍推進につなげていく必要がある。

とちぎ女性チャレンジ応援事業

若年層への働きかけ

理工系分野における女性活躍促進事業

- ・女子中・高校生とその保護者、教員を対象に理工系分野の企業等で活躍する女性との交流会を開催
- ・女子高校生・大学生とその保護者を対象とした企業訪問による研究・開発活動の見学等を実施

女子小中学生等を対象とする理工系分野への進路選択促進事業

県内の理工系大学と連携し、女子小・中学生とその保護者を対象に学校で行うよりもレベルの高い実験やものづくり体験を実施

若者のキャリアデザイン講座

- ・県内の大学生等を対象にキャリアコンサルタントによるワーク・ライフ・バランスの実現や女性の就業継続、男性の家庭参画の重要性に関する講義を実施
- ・社会人ロールモデルによる講話や学生との交流会の実施

男性の働き方・意識改革

とも育て応援講座

夫婦がともに子育てを担う重要性や夫婦のパートナーシップ、父親の子育てについて学ぶ機会を提供し、男性の育児参画を促すための講座を開催

男性のワーク・ライフ・バランス講座

20～50代の働く男性等を対象に働き方や暮らし方の見直しのヒントとなる講座を開催